

文字の読めない子

柳平：あまりに早く無理をして子供に漢字を教え込むと、その子供のパーソナリティ、いわゆる人間性に影響があると言われていますが、これについてどのようにお考えでしょうか。

ドーマン：私の意見としては子供の性格というものは、将来においても改善されると思います。

アメリカでは、学校にいらしている子供の25%が、字の読めない子供です。学校にいらしてさえ、25%も読めない子供がいるのです。

こういう子供は、たいへん困難な問題を抱えています。

もし私がどこの学校へいっても、「先生、あなたの生徒の中で、いちばん出来の良い生徒5人をここへ立たせて下さい」と言ったとします。そうすると、太郎さん、花子さんが、こちらへ出てきます。

今度は、「それでは、一番できの悪い生徒を、5人あっちの隅へ立たせて下さい」と言います。すると、先生は「じゃ、二郎さん、あっちの隅へいらっしゃい」と言います。

そうしますと、私は、こちらの隅にいるできの良い子供は、一番良く読める生徒たちで、あちらの隅にいる劣等生というのは、字の読めない子供であると、言い切ることができます。この場合99%、私は、正しいと思います。

アメリカでは、知識がないために困っている子供が、たくさんいます。あまり物を知り過ぎているために、困っているという子供に会った例がありません。

私が申しあげたいのは、日本の子供に漢字を教えるだけでなく、アメリカの子供にも、漢字を教えてあげたいと思うことです。私が、こんなに精神薄弱な大人でなければ、ほんとうにそれを始めます。